

# 専大スポーツ

【専大スポーツ】 <https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>  
【専大スポーツ編集Web】 <https://sensupo.com/>

No. 400

シングルス全勝で殊勲賞の三部 (早大戦)



## 秋季関東学生卓球リーグ戦

# 5シーズンぶり30回目

## 殊勲賞・三部 優秀選手賞・及川

秋季関東学生卓球リーグ戦が9月4日から13日まで、埼玉県・所沢市民体育館ほかで開かれた。殊勲賞の三部航平(商4・青森山田高)、優秀選手賞の及川瑞基(商4・青森山田高)がチームをけん引し、6勝1敗で5シーズンぶり30回目の優勝を果たした。

戦では春季リーグで敗れた早大にストレート勝ちと勢いを増し、第6戦でリーグ戦4連覇中の王者・明大と対戦した。試合は1番手の及川が勝利し、幸先の良いスタートを切ったものの、その後は3連敗で窮地に追い込まれた。しかし吉田海斗(文2・希望が丘高)、三

7番手の蛭田龍(経営2・希望が丘高)にゆだねられた。蛭田が息詰まる接戦を制し、最終戦を待たずに優勝を決めた。最終戦で中大に敗れ、全勝優勝こそならなかったが、王者を降しての見事な優勝。シングルス全勝の三部は「全勝で終えたことはなかった。大学生活最後のリーグ戦でチームに貢献し、優勝することができて良かった」と胸を張った。

4年間でリーグ戦通算40勝を挙げた及川と、30勝を挙げた三部は特別賞も受賞した。(池村友輔・文2)写真も)



明大に勝利し、優勝に沸く部員たち

## 90kg級・林 3位

全日本ジュニア柔道体重別選手権11月9日、15日、埼玉県立武道館

90kg級で林虹希(経営1・木更津総合高)が実力を発揮し、3位に輝いた。全日本柔道連盟のジュニア強化選手入りとなる

る3位以内を目標としていた林は「自分の力を出すことをテーマに、練習と同じように試合に臨むことを意識した。満足の結果を残すことができた」と語った。

11月の全日本柔道体重

別選手権に向け、「オリンピックの第1次選考を兼ねた日本トップクラスの選手が出場する大会。強い選手との対戦で自分には何が足りないのかを見つけない」と話した。(山下佳帆・経営2)

## 女子は4位

女子はチームの中心を担う枝松亜実(人間科学3・山陽女子高)、木村香純(経営2・四天王寺高)に加え、大島奈々(文1・愛知みずほ大瑞穂高)、永道麻依加(文1・希望が丘高)の1年次生コンビが健闘し、5

勝2敗の4位で終えた。(村山健人・商2)

## 谷澤・石原ペア 準優勝

東日本学生バドミントン選手権11月8日、9日、北海道人札幌市・北海きたえーるアリーナ

谷澤安衣主将(商4・



賞状を手笑顔の石原(右)と谷澤

日本橋女子学館高・石原優美(文4・日本橋女子学館高)ペアが女子ダブルで準優勝した。

昨年は別のペアでとも3位となった2人が組み、活躍をみせた。

「二戦一戦と戦うか、戦略を練りながらプレーした」と谷澤主将。なかでも準々決勝は長いラリーが続く、どちらが勝つかかわらないうまく、法大と対戦し、リーグ3戦目にして今季初白星を挙げた。

先制点を奪われるも、F B檜山成希(経営3・国学院大栃木高)が持ち前の走りでディフェンスをかわしてトライ。法大リードで迎えた後半は互いに得点を奪い合う展開。F L西小路大河(経済3・大阪桐蔭高)のトライに続き、C T B平山壮太(経営2・大分舞鶴高)がユニホームをつかまれながらも力でトライを奪い、21-25まで追った。最後は檜山が右サイドに滑り込み、26-25と逆転。1点差を守り抜き、2トライ3ゴールを決め、マンオブザマッチに選ばれた檜山は、「この1勝を機に、後半戦も積極的にチャレンジして、目標の大学選手権出場(リーグ戦3位以内で出場権獲得)を目指す」と先を見据えた。(高田康平・経営3)写真も)

## 今季初勝利

関東大学ラグビーリーグ戦・第3戦11月15日、栃木県・足利市総合公園陸上競技場

法大と対戦し、リーグ3戦目にして今季初白星を挙げた。

先制点を奪われるも、F B檜山成希(経営3・国学院大栃木高)が持ち前の走りでディフェンスをかわしてトライ。法大リードで迎えた後半は互いに得点を奪い合う展開。F L西小路大河(経済3・大阪桐蔭高)のトライに続き、C T B平山壮太(経営2・大分舞鶴高)がユニホームをつかまれながらも力でトライを奪い、21-25まで追った。最後は檜山が右サイドに滑り込み、26-25と逆転。1点差を守り抜き、2トライ3ゴールを決め、マンオブザマッチに選ばれた檜山は、「この1勝を機に、後半戦も積極的にチャレンジして、目標の大学選手権出場(リーグ戦3位以内で出場権獲得)を目指す」と先を見据えた。(高田康平・経営3)写真も)



力強くボールを運ぶ檜山

## Aブロック 復帰決める

関東女子大学ゴルフ秋季Bブロック対抗戦11月5日、6日、埼玉県・こだまゴルフクラブ

出場4人中、上位3人のトータルスコアで競う対抗戦。専大からは金田江利子(文3・高川学園高)、諸橋愛奈(文2・佐久長聖高)、大島桃果(ネット情報2・宇都宮文星女子高)、林瑚都(経済1・九州学院高)が出場した。個人トップの成績を残し、最優秀選手に選ばれた諸橋の活躍もあり1位。1季でのAブロック復帰を決めた。

## 男子は3位

関東大学ゴルフ秋季Aブロックリーグ戦11月16日、20日、茨城県・静ヒルスキャントリッククラブ

男子は今季からマッチプレーによるリーグ戦に競技方法が変更。Aブロック所属の専大は2勝1分で6校中3位となった。信夫杯争奪日本大学対抗戦の出場権を獲得した。